



「憲法守れ」のプラカードを掲げる参加者ら。29日、名古屋市中区

“違憲なものは違憲”

名古屋暴走政治止めようと集会

29日夕、弁護士や学者らでつくる実行委員会が呼びかけた「安倍内閣の暴走を止めようあいち集会」に、2000人を超える人が集まりました。「憲法守れ」「安倍やめろ」のプラカードが名古屋市中区栄の広場に林立しました。

主催者あいさつした中谷雄二弁護士は、安倍首相は「国民が安保法制を理解していない」というが「国民は戦争法案の中身を理解

した上で、反対の声を上げている」として、首相補佐官の「法的安定性は関係ない」との暴言こそ、政府の本音ではないかと批判しました。

なごやNGOセンター理事長やカトリック司祭、元自衛官など多彩な人があいさつ。元自民党県議の梅村忠直弁護士は「首相が何を言おうが違憲は違憲」と強調。元航空自衛官の水上学さんは「服務の宣誓」を読み上げ、

「この中に海外へ行って武力行使しろ、なんて一言も入っていない」と述べました。

集会後、参加者らは「戦争したがる総理はいらぬ」「戦争法案、今すぐ廃案」などコールしながらデモ行進。繁華街で道行く人の注目を集めました。

学校帰りに制服姿でデモに初めて参加した女子高生（17）は「来年の参院選から選挙に参加できるのに、学校では政治が話題にならない。国民主権を踏みにじる政府を許せない意思表示をしたくて来た」と話しました。